

Ibaraki Association of Architects & Building Engineers

# けんちく茨城

No. 90 February, 2016

[報告]

平成28年新春賀詞交歓会

[建築作品紹介]

茨城県立水海道第一高校



一般社団法人  
茨城県建築士会

# 会報 けんちく茨城

一般社団法人 茨城県建築士会 / 平成28年2月 第90号

## 目次

	年頭のごあいさつ 一般社団法人 茨城県建築士会会長 柴 和伸	1
[報告]	平成28年新春賀詞交歓会	2
[報告]	加藤誠洋氏、郡司政美氏、村田栄理哉氏が 「2015年度グッドデザイン賞」を受賞しました!	6
[建築作品紹介]	茨城県立水海道第一高校	8
[シリーズ]	ようこそフレッシュマン! 神代 巧さん、野澤 友子さん、藤田 康広さん	10
[シリーズ]	先輩会員を訪ねて 小松 邦彦氏、戸塚 敏夫氏	11
[養成講習報告]	「中大規模木造建築物の設計者養成講習会」開催される	12
[全国大会報告]	平成27年度建築士会全国大会「石川大会」に参加。	13
[会員委員会報告]	第24回日帰り見学会 快晴の日に世界遺産・富岡製糸場から軽井沢までを巡る。	14
[情報・広報委員会報告]	「茨城県木造住宅耐震診断士養成講習会」開催。	15
[総務委員会報告]	「建設フェスタ2015」に参加。今年は「ストローハウス」コーナーが大盛況!	16
[まちづくり委員会報告]	水害からの復興を最優先に考えながら、 常総市の歴史的遺産を活かす連携事業を推進。	17
[研修委員会報告]	今年も「工事管理者セミナー」を開催。	18
[青年委員会報告]	「グリーンフェスティバル2015」でワークショップを開催。	19
	第25回全国女性建築士連絡協議会に6名で参加。	20
[女性委員会報告]	ラブアークセミナー 石材の品質と性格についての奥深い話に感動。	21
	わくわくセミナー 秋の洞峰公園でスケッチの妙味を知る。	21
[県央支部報告]	「施設見学会 in 東京」開催。F・ゲリーとスカイツリーと屋形船に気分も高揚!	22
	建築セミナー「耐震工法・制振工法・免震工法どれが一番?」を受講して。	23
[ひたちなか支部報告]	視察研修会 「小江戸川越散策&長瀨ラインくんだり」	24
	東海村文化祭に「段ボールハウスの張り紙体験」で参加。	25
[JR水戸支部報告]	東日本大震災における駅舎天井の大規模落下とその後の取組み	26

## 会報 けんちく茨城

題字 橋本 昌 茨城県知事

平成28年2月 第90号

表紙写真 茨城県立水海道第一高校

設計・監理 三上建築事務所・  
眞建築設計室建築  
関連業務共同企業体

所在地 常総市

建築面積 1,498.89㎡

延床面積 5,222.08㎡

主体構造 RC造 地上5階建

発行 平成28年2月9日(年3回発行)

次回発行 平成28年6月10日予定

発行部数 2,600部

発行所 一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸

〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F

TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330

Eメール kyy05413@nifty.com

編集 情報・広報委員会

デザイン 有限会社平井情報デザイン室

印刷所 株式会社あけぼの印刷社

## 災害時における対応を より強化する年に

一般社団法人 茨城県建築士会

会長 柴 和伸



新しい年を迎えての抱負を柴会長に語っていただきました。

### 望まれる国際社会の安定、国内景気の回復

昨年は景気回復の兆しが見えたものの、中国経済の減速、中東情勢の混迷やテロの脅威の世界的拡大など、経済の混乱やリスクが高まる結果となりました。今年は中国経済の情勢、中東の情勢次第では、予想以上の悪化も懸念されます。国内外の問題を含めさまざまな懸念材料はありますが、4年後の東京五輪へ向けて、また県内では3年後に開催される茨城国体に向けて、インフラ整備等公共事業の拡大を期待します。我々建築業界に身を置く者としては、今後のさらなる景気の回復を願い、個々の事務所、企業だけではなく、皆が良くなるよう協力し、問題解決への努力をしていかなければならないと考えています。

### 事業の継続、会本来の任務

会の活動としては、基本的には今まで進められてきた事業を継続していくこととなりますが、災害時における対応も会として重要な役割となります。昨年9月、豪雨により常総市を流れる鬼怒川が決壊して氾濫・浸水するなど広範囲で被害が発生した際は、行政の方と住宅被害調査、罹災証明に関する調査協力などを行いました。今後は応急危険度判定士を含め、災害時の貢献を図っていきたいと考えています。

今後も継続となる主な事業としては、一昨年6月より講座を開始した「いばらき木造塾」は毎回50名近い受講者があり、木造の技術、知識を深めるために、28年度も引き続き開催する予定です。また、平成24年～26年にかけて行われた地域文化財専門技術者（ヘリテージマネージャー）養成研修では県内で97名が誕生し、今年は具体的な活動に向けての年となります。さらに、昨年「空家等対策の推進に関する特別措置法」の施行の流れを受け「いばらき空家対策推進協議会（仮称）」を発足し検討を行ってきました。今年は具体的な活動に向け協議を進めていきます。その他、平成22年に「公共建築物等木材利用促進法」が施行され低層の公共建築物は原則木造化・木質化に努めることになりました。隈研吾氏設計による新国立競技場での木材の多用など木材の良さが見直されつつあります。さらなる木材の普及を目指し、昨年は稲山東大教授を迎え「中大規模木造建築物設計者養成講習会」を開催、関心が高まりました。今年もセミナー等の企画を考えています。

### 会員の減少、厳しい財政、会員増強

毎年のことではありますが、年々会員が減少し、財政的にも会の運営が危惧される状態にあります。特に若い方の入会が少なく、魅力ある会にするためにも若い会員の方の力が必要です。会員の増強を皆さんと共に図っていきたいと考えています。

（聞き手=情報・広報委員会 浅野 祐一郎）

# 平成28年 新春賀詞 交歓会

平成28年1月15日(金) 16:00～  
水戸プラザホテル 2階「ポウルルーム」

[式次第]

開会のことば／会長あいさつ／来賓あいさつ／表彰式  
来賓紹介／乾杯／賀詞交歓／大抽選会／中締め

新年の恒例行事となった平成28年新春賀詞交歓会が1月15日(金)水戸プラザホテルにおいて開催された。今年も、来賓、会員、賛助会を合わせて350名が参加。

松山恒男副会長による開会宣言の後、柴和伸会長から挨拶があり、昨年9月、常総市において、鬼怒川の堤防決壊により多くの家屋が水害に見舞われ、地元会員の協力により、被害に遭った家屋の調査、罹災証明の発行に伴う調査支援など被災市への協力を行った。今年度の主な事業として、一昨年から始まった「いばらき木造塾」の継続、県産木材の普及を目指す「中大規



橋本 昌  
茨城県知事



高橋 靖  
水戸市長／  
本会顧問



白田 信夫  
県議会議員／  
本会顧問



伊沢 勝徳  
県議会議員／  
本会顧問



柴和伸  
本会会長  
本会顧問



明るく元気に  
いきましょう



今年もお世話に  
なります



よい年になると  
いいですね



健康が一番ですね



お互い  
頑張りましょう



いろいろ挑戦して  
いきたいですね



チームワークは  
ばっちりです!

模木造建築物設計者養成講習会」の開催、昨年、84名のメンバーで発足した「ヘリマネいばらき協議会」の今後の活躍、さらに、市町村の空き家対策を支援するための組織として「いばらき空き家等対策推進協議会」を発足させたことなどを報告。今後もいろいろな面で地域に貢献したいと考えており、各行政機関、関係団体の力を頂きながら、会員一丸となって事業に取り組んでいきたいと年頭の抱負を述べられた。

来賓挨拶では、橋本昌県知事、高橋靖水戸市長、白田信夫県議会議員、伊沢勝徳県議会議員からご祝



いばらき地域適合型木造住宅提案コンペの表彰風景

辞を頂き、続いて、県木連の平成27年度いばらき地域適合型木造住宅提案コンペの表彰式が行われた。

その後、石川多聞県林業協会理事長の乾杯により祝宴に入り、例年のことながら、支部の枠を超え、さらに来賓及び賛助会の方々との交流と有意義なものとなった。

また、祝宴の中では、昨年同様、会員、賛助会より提供のあった景品が当たる抽選会が行われ、最後には、液晶テレビ50型が当たる抽選で大いに盛り上がった。

盛況のうちに時間が流れ、賛助会代表幹事である(株)フジクリーン茨城の大竹昌士専務の中締め、さらに松山恒男副会長の閉会宣言で幕を閉じた。

申年は、災いが「去る」として縁起の良い年と言われています。紛争のない社会、そして経済成長、景気回復を大いに願い、また、会員、賛助会の皆様に幸多き年であることをお祈り申し上げます。

(報告=情報・広報委員会)



大きな飛躍を遂げる  
1年にしましょう!  
乾杯!

当たりました!  
うれしいです

ありがとう  
ございます

幸先のよい年  
になりました

やりました!  
大当たりです!

今年もよろしく  
お願いします

笑顔の年に  
しましょう

女性の力も  
大切です

# 平成28年 新春賀詞交歓会参加者名簿

\*当日出席された方のお名前を掲載しています

## ご来賓

茨城県知事	橋本 昌	(公社)茨城県水質保全協会 理事長	成田 浩明
衆議院議員	田所 嘉徳	(公社)茨城県宅地建物取引業協会 会長	山田 守
水戸市長 建築士会顧問	高橋 靖	茨城県塗装工業組合 理事長	鈴木 博巳
茨城県議会議員 建築士会顧問	白田 信夫	茨城県鉄筋業協同組合 理事長	大平 時彦
茨城県議会議員 建築士会顧問	伊沢 勝徳	茨城県鐵構工業協同組合 副理事長	萩原 文雄
茨城県土木部都市局長	富永 幸一	茨城県板金工業組合 理事長	花田 昇
茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長	山田 茂	(一社)茨城県貯水槽維持管理協会 会長	稲葉 貞幸
茨城県土木部技監兼都市局住宅課長	中村 浩	茨城県管工事業協同組合連合会 会長	石田 賢司
茨城県土木部営繕課長	鈴木 安行	(一社)茨城県消防設備協会 会長	瀬谷 利雄
水戸市都市計画部技監兼建築指導課	川崎 洋幸	茨城県行政書士会 会長	國井 豊
日立市都市建設部建築指導課長	沼田 敬元	茨城県型枠事業協同組合 理事長	佐々木 広行
土浦市都市整備部建築指導課長	真家 達成	茨城県石材業協同組合連合会 会長	堀 政美
(一財)茨城県建築センター 理事長	野澤 謙次	茨城県電気工業業協同組合 副理事長	三浦 利春
(一社)茨城県建築士事務所協会 会長	横須賀 満夫	茨城県防水工業業連合会 会長	神原 陽一
日本建築学会関東支部 茨城支所長	益子 一彦	茨城ディスプレイ協同組合 理事長	伊藤 三男
(一社)茨城県設備設計事務所協会 会長	菊地 繁	茨城新聞社 社長	小田部 卓
(一社)茨城県建設業協会 専務理事	田山 寛治	日本工業経済新聞社 水戸支局長	沼田 好世
(公社)茨城県林業協会 理事長	石川 多聞	日本建設新聞社 水戸総局長	井上 哲郎
茨城県木材協同組合連合会 会長	生井 邦彦	(一社)茨城県建築士会 相談役	滑川 浩一
(一社)茨城県電設業協会 副会長	園部 昌之	(一社)茨城県建築士会 相談役	田中 實
(一社)茨城県空調衛生工業業協会 会長	小川 三郎	(一社)茨城県建築士会 相談役	関根 慎一

(敬称略、順不同)

## 正会員

北茨城支部	篠原 武司 茅根 信男	鹿島支部	中蘭 薫	県央支部	轡田 久恵 久野 啓二 倉田 章吾 小坪 真司 小林 要 小室 晶 小室 克己 斉藤 栄治 酒寄 光一 櫻井 充 佐藤 一武 佐藤 哲夫 椎名 康一 篠根 玲子 柴 和伸 杉本 孝一 関根 貴雄 瀬谷 和人 高槻 一雄 田中 健一 田中 正巳 飛田 直身 富田 正美 富山 則行 中崎 妙子 中山 眞矢 沼田 弘次 根本 勝義 根本 洋一朗 塙 貴宏 塙 秀之	県央支部	塙 万治 早川 敏史 平沼 清美 深沢 清治 藤田 貢 藤田 康広 舟幡 健 丸山 好史 宮本 久 盛田 周作 守田 義広 安田 和男 柳下 文江 山田 一博 山田 博通 横須賀 孝 吉田 雄一 吉田 進 和田 淳一 渡辺 章夫
久慈支部	市川 三和子 岩瀬 由美子 西野 泉 藤井 耕市	県央支部	浅野 祐一郎 安達 芳男 飯島 隆 五十嵐 賢治 池崎 栄二 井坂 光宏 石川 啓司 石黒 洋子 石田 一裕 泉 安幸 磯山 治 市毛 純一 植田 和孝 内山 一志 宇留鷺 博一 海老澤 司 遠藤 洋三 大鐘 孝弘 大槻 薫 大部 淳一 大山 早嗣 岡部 安寿 小川 憲一 小川 雅良 小沼 隆志 笠井 裕一 加藤 宜之 金澤 重雄 菊池 洋次	県央支部	塙 万治 早川 敏史 平沼 清美 深沢 清治 藤田 貢 藤田 康広 舟幡 健 丸山 好史 宮本 久 盛田 周作 守田 義広 安田 和男 柳下 文江 山田 一博 山田 博通 横須賀 孝 吉田 雄一 吉田 進 和田 淳一 渡辺 章夫		
高萩支部	石川 宏 棚谷 哲夫 豆澤 時雄	県央支部	浅野 祐一郎 安達 芳男 飯島 隆 五十嵐 賢治 池崎 栄二 井坂 光宏 石川 啓司 石黒 洋子 石田 一裕 泉 安幸 磯山 治 市毛 純一 植田 和孝 内山 一志 宇留鷺 博一 海老澤 司 遠藤 洋三 大鐘 孝弘 大槻 薫 大部 淳一 大山 早嗣 岡部 安寿 小川 憲一 小川 雅良 小沼 隆志 笠井 裕一 加藤 宜之 金澤 重雄 菊池 洋次	県央支部	塙 万治 早川 敏史 平沼 清美 深沢 清治 藤田 貢 藤田 康広 舟幡 健 丸山 好史 宮本 久 盛田 周作 守田 義広 安田 和男 柳下 文江 山田 一博 山田 博通 横須賀 孝 吉田 雄一 吉田 進 和田 淳一 渡辺 章夫		
日立支部	石黒 幸喜 加藤 雅史 菊池 積 清水 忠 坪和 昭男 富田 義光 生田目 昇 松山 恒男 三澤 俊介	県央支部	浅野 祐一郎 安達 芳男 飯島 隆 五十嵐 賢治 池崎 栄二 井坂 光宏 石川 啓司 石黒 洋子 石田 一裕 泉 安幸 磯山 治 市毛 純一 植田 和孝 内山 一志 宇留鷺 博一 海老澤 司 遠藤 洋三 大鐘 孝弘 大槻 薫 大部 淳一 大山 早嗣 岡部 安寿 小川 憲一 小川 雅良 小沼 隆志 笠井 裕一 加藤 宜之 金澤 重雄 菊池 洋次	県央支部	塙 万治 早川 敏史 平沼 清美 深沢 清治 藤田 貢 藤田 康広 舟幡 健 丸山 好史 宮本 久 盛田 周作 守田 義広 安田 和男 柳下 文江 山田 一博 山田 博通 横須賀 孝 吉田 雄一 吉田 進 和田 淳一 渡辺 章夫		
ひたちなか支部	上久保 博隆 川又 晴彦 清水 洋一 立花 秀之 浜中 本子 山田 博則	県央支部	浅野 祐一郎 安達 芳男 飯島 隆 五十嵐 賢治 池崎 栄二 井坂 光宏 石川 啓司 石黒 洋子 石田 一裕 泉 安幸 磯山 治 市毛 純一 植田 和孝 内山 一志 宇留鷺 博一 海老澤 司 遠藤 洋三 大鐘 孝弘 大槻 薫 大部 淳一 大山 早嗣 岡部 安寿 小川 憲一 小川 雅良 小沼 隆志 笠井 裕一 加藤 宜之 金澤 重雄 菊池 洋次	県央支部	塙 万治 早川 敏史 平沼 清美 深沢 清治 藤田 貢 藤田 康広 舟幡 健 丸山 好史 宮本 久 盛田 周作 守田 義広 安田 和男 柳下 文江 山田 一博 山田 博通 横須賀 孝 吉田 雄一 吉田 進 和田 淳一 渡辺 章夫		
鹿島支部	内芝 良吉 高橋 文男	県央支部	浅野 祐一郎 安達 芳男 飯島 隆 五十嵐 賢治 池崎 栄二 井坂 光宏 石川 啓司 石黒 洋子 石田 一裕 泉 安幸 磯山 治 市毛 純一 植田 和孝 内山 一志 宇留鷺 博一 海老澤 司 遠藤 洋三 大鐘 孝弘 大槻 薫 大部 淳一 大山 早嗣 岡部 安寿 小川 憲一 小川 雅良 小沼 隆志 笠井 裕一 加藤 宜之 金澤 重雄 菊池 洋次	県央支部	塙 万治 早川 敏史 平沼 清美 深沢 清治 藤田 貢 藤田 康広 舟幡 健 丸山 好史 宮本 久 盛田 周作 守田 義広 安田 和男 柳下 文江 山田 一博 山田 博通 横須賀 孝 吉田 雄一 吉田 進 和田 淳一 渡辺 章夫		

鉾田支部	田崎 重司	常総支部	松崎 マサ子	石岡支部	和田 邦裕				
古河さしま支部	小林 澄夫	筑西支部	一本杉 文男	稲敷支部	児玉 欽司	土浦支部	青山 立美		
〃	長塚 威	〃	大和田 信雄	〃	永長 工市	〃	赤木 香菜子		
〃	根本 和也	〃	郡司 政美	〃	新田 孝司	〃	赤木 裕子		
〃	長谷川 正幸	〃	小薬 拓巳	〃	根本 浩司	〃	石坂 健一		
桜川支部	飯島 一則	〃	小島 時夫	〃	藤代 利雄	〃	入江 謙吾		
〃	飯島 洋省	〃	柴 博美	〃	依田 慎一	〃	枝川 良昌		
〃	石島 隆	〃	鈴木 茂	北相馬支部	石田 博英	〃	大野 雅明		
〃	市村 和也	〃	中嶋 紀行	〃	小磯 俊明	〃	小神野 栄		
〃	鈴木 孝和	〃	中山 和朗	〃	篠崎 達	〃	小林 明江		
〃	武村 実	〃	百目鬼 正崇	〃	土井 金哉	〃	櫻井 成郎		
〃	比企 正信	〃	平入 彰	〃		〃	鈴木 啓之		
〃	藤田 昭一	〃	谷島 正憲	筑波支部	相澤 晴夫	〃	須藤 隆		
〃	古橋 明	坂東支部	大久保 正男	〃	青木 孝二	〃	関根 美宏		
〃	渡辺 清一	〃	菊池 一夫	〃	潮田 浩	〃	塚本 晋也		
下妻支部	飯村 純男	〃	鈴木 光興志	〃	潮田 充	〃	中村 真紀子		
〃	軽部 守彦	〃	滝本 武	〃	沖山 哲夫	〃	増山 栄		
〃	霜村 修	〃	森 均	〃	河野 正博	〃	箕輪 勇介		
〃	広瀬 元二	結城支部	立堀 佳美	〃	斉藤 保弘	竜ヶ崎支部	家富 秀一		
常総支部	岡田 一夫	石岡支部	久保田 吉文	〃	中泉 文夫	〃	佐藤 信一		
〃	杉田 次夫	〃	島田 哲	〃	長瀬 行弘	〃	田々辺 寿雄		
〃	高野 武	〃	武居 公江	〃	中山 正巳	〃	成田 孝成		
〃	福田 明良	〃	吉田 良一	〃	中山 康弘	〃			
				〃	野口 克典				
				〃	茂垣 直樹				

## 賛助会員

アイジー工業(株)	小形 満	清和工業(株)	高倉 正明	日本板硝子関東販売(株)	羽成 正光
〃	島田 和巳	草苺木工(株)	草苺 道雄	(株)根子左	豊田 一雄
アイ・アール(株)	岩間 夕子	(株)建築資料研究社/日建学院	柿本 和彦	〃	根子 清
〃	神谷 かおる	〃	飛田 雅明	常陸大理石(株)	梶山 治夫
(有)アカオギ塗工	赤荻 弘	〃	平野 隆志	(株)日立ビルシステム	尾崎 貴規
暁飯島工業(株)	平塚 亨	〃	梁田 馨	〃	加藤 貴浩
(株)アルク	近藤 広幸	(株)建友	根本 学	〃	山口 史子
(株)安心確認検査機構	伊勢山 司郎	コスモ総合建設(株)	池田 勇夫	ビルトマテリアル(株)	深澤 敦
〃	奥津 広	〃	川畑 清作	〃	横堀 俊夫
〃	前川 秀夫	〃	榊 貴人	〃	吉田 浩樹
(株)伊勢基本社/水戸プラザホテル	綿引 章博	〃	菅原 秋彦	(株)フジクリーン茨城	大竹 伸一
(一財)茨城県建築センター	打越 信久	〃	池田 大輔	〃	大竹 昌士
〃	江原 秀明	小西(株)	石塚 義昭	〃	小澤 紀一
〃	遠藤 勝重	三英物産(株)	石塚 義章	フジグリーン工業(株)	加藤 康宣
〃	小林 真由子	三和シャッター工業(株)	内田 勉	不二サッシ(株)	栗飯原 安雄
〃	佐藤 昭市	〃	安田 則之	〃	豊田 一郎
〃	中村 翠	(株)新栄電気通信工業	庄司 泰世	(株)フジタビジネスマシズ	藤田 卓也
〃	西村 和男	(株)新日東	鈴木 紀英	〃	宮部 正栄
〃	横川 清	(株)サンライフコーポレーション	野口 利明	(株)北雄産業	市川 光夫
(株)茨城県南木造住宅センター	中村 公子	〃	根本 正弘	〃	鈴木 大二郎
茨城県林業種苗協同組合	大越 靖史	鈴木鉄工建設(株)	鈴木 匡明	北海道パーケット工業(株)	高根 満男
茨城寺岡オートドア(株)	上田 庫由	(株)総合資格	長澤 正洋	ホテルテラスザガーデン水戸	海野 勝一
植田防水工業(株)	栗原 信	〃	宮田 健一	前田製管(株)茨城支店	安藤 直哉
(株)エスアールエスディービー社	小澤 康二	(株)第一工業	小泉 惠一	ミナト防災通信工業(株)	石井 浩二
〃	須藤 崇人	高橋商事(株)	高橋 勲	〃	仙北谷 正明
〃	須藤 裕市	秩父ケミカル(株)	室伏 秀行	(株)湯浅	湯浅 宗浩
大泉碎石(株)	砂押 寿秀	(株)千代田興業	坂井 康秀	ユーディーアイ確認検査(株)	宇野 雅視
〃	田中 一郎	筑波研究学園専門学校	大野 克典	〃	後藤 達史
岡部(株)	足立 智広	〃	原 智樹	ランドスタイル(株)	松村 秀治
〃	平林 健一	ナブコシステム(株)	黒滝 浩之	(株)LIXIL茨城支店	高橋 優
(株)角藤	小林 隆	(株)奈良屋	田仲 邦彦	〃	兵 歩
〃	宮原 和樹	〃	横山 昌弘	リンナイ(株)	長田 亮治
〃	村田 弘就	(株)西尾家具工芸社	内山 貴博	YKKAP(株)	伊藤 万喜男
(有)カネミツ商会	小田 真吾	日本産業(株)	丹 次夫	〃	遠山 勉
菊地設備設計事務所	石川 将人	〃	真鍋 竜男	〃	中武 剛
〃	横山 努	日本板硝子関東販売(株)	中尾 基伸	和知商事(株)	和知 紀良
(株)菊正塗装店	鈴木 章	〃	中野 祐樹		

# 加藤誠洋氏、郡司政美氏、村田栄理哉氏が 「2015年度グッドデザイン賞」を受賞しました！



GOOD DESIGN  
AWARD 2015

「2015年度グッドデザイン賞」を  
茨城県建築士会会員の3名が受賞されました。  
それぞれの作品づくりの経緯と、  
そこに込めた想いを綴ってもらいました。



## 結城澤屋 | 加藤 誠洋 一級建築士事務所のぶひろアーキテクト

### 創造が試されるからこそ進化への挑戦を

私が空間設計を担当した「結城澤屋」が、「2015年度グッドデザイン賞」と「茨城デザインセレクション2015」知事選定に選ばれました。

受賞した建物は、新ブランドを立ちあげた老舗結城紬問屋が、自社物件であった明治19年築の見世蔵を旗艦店として利用したもので、国登録文化財にもなっています。

この仕事では、クライアント側にディレクターがおり、空間・グラフィック・webそれぞれの人選がなされました。施工業者は私に選定が任されていたので、普段から交流があり、文化財改修に対して理解のある郡司建築工業所をお願いしました。

文化財の改修というと大抵が似たようなものになってしまうのは仕方がないのですが、この手の仕事こそ建築の創造性が試されるはずで、最近では改修の手法について挑戦をしています。

今回は、2013年にグッドデザイン賞などをいただいた「橋本珈琲」とおなじ文化財の改修でしたが、その手法をかなり進化させました。

内部什器も担当をさせていただき、空間に馴染みかつ結城紬の持つ上品さを損なわぬよう腐心しました。

また、グラフィックと協働した看板は「日本サインデザインアワード2015」において最優秀賞・招待審査員賞をいただいたほか、「2015 oneshow シルバーペンシル賞」、「D&ADアワード2015 ウッドペンシル賞」など多数の受賞に恵まれました。

この改修の一番の見所は、将来関係者が誰も存在していなくとも、推理小説を読み解くようにもとの姿に復元が可能ないようにしてあるところですが、それは一般の方より建築士のような専門家こそ興味を持つポイントでしょうか。



## 設計・施工のトリプル受賞は無上の喜び

昨年より取り組んでおりましたつくばの美容室が、「2015年度グッドデザイン賞」に選定され、また、茨城のデザイン賞「いばらきデザインセレクション2015」知事選定にも評価され、ダブル受賞することができました。

この建物は、すでにつくば発の美容室としてブランドを確立しているオーナーの横内氏率いる「artisanale」の新旗艦店として計画されたものです。

敷地は市街化区域に隣接した調整区域に開発行為を伴ったもので、全体として1,500㎡ほど計画されています。

プランは延べ床174㎡、敷地の広さを生かし、伸びやかな分棟形式を模した平面計画とし、空間の表現として直ちに現れる特徴的な屋根を主体とした立面となっています。

分棟形式が店舗のエネルギーコストの足かせとならないよう、特に断熱および高性能木製サッシの採用に代表される開口部の性能を重視した仕様となっています。

マスターアーキテクトの遠藤康一氏、構造の高見澤孝志氏とともにアイデアを出し合いながら今回の空間を実現させた



とが、評価につながったものと思います。

今回の受賞については、筑波支部の河野正博様、土浦支部の小林明江様、および茨城県建築士会の会員の皆様の日頃のご指導のたまものと存じます。

また、施工者としても、古河支部の加藤誠洋氏の「結城澤屋」、土浦支部の村田栄理哉氏の「いばらきの古民家再生住宅」でも同賞を受賞できたことは、建築に関わるものとして無上の喜びであり、今後のデザインへの取り組みや施工技術の向上の糧としてまいります。



## いばらきの古民家再生住宅 | 村田 栄理哉 村田建築都市研究所

### 「古民家再生」の社会的意義を再認識

茨城県古河市にある築200年ほどの古民家の再生プロジェクトです。趣のあるお屋敷のなかに建つ、出し桁づくりの伝統的主屋で、代々住み継いできたお屋敷を次世代に残したいとの思いをもつお施主さまと、文化財等の経験のある設計者との出会いから、本プロジェクトはスタートしました。

伝統的民家は兼好法師の言うところの「夏を旨とした」つくりで、夏に涼しく快適にすごせる反面、冬の底冷えは厳しいものです。その他にも現代的な生活に合わない点が多々あり、本計画では古民家の伝統的空間を活かしつつ、いかに居住性を改善するかが設計上の課題でした。

プランは和室続き間を建具で仕切る「田の字型」間取りで、今回の工事では南側諸室は伝統的な和室続き間として残し、北側諸室をLDKとして快適に住めるように断熱施工のうえ床暖房を設置しています。住環境改善のため既存の張出し水まわりは減築し、旧土間におしゃれな家族風呂を新設しました。

古民家再生は改修設計のなかでも不確定要素が非常に大きく、現場の職人さんたちと連携して臨機応変な対応をすることが必要です。今回はご理解のあるお施主さまのもとで、話ができて腕のたつ職人さんたちに恵まれ、いい仕事をさせていただくことができました。

伝統文化の継承や持続可能な社会づくりという意味で、「古民家再生」は社会的意義のある仕事であり、今回の受賞は私たちのそうした取り組みの姿勢を評価していただいたものとして大変うれしく思っています。





[建築作品紹介]

# 茨城県立水海道第一高校

生徒全員が時間と空間を共有できる校舎の創出

センターホール 撮影：堀内広治（表紙、p8-9、裏表紙）

## 水海道一高の特質

水海道一高は、創立以来110年の歴史をもつ茨城県内有数の伝統校である。立志・自学自習を掲げ、近年においては単位制運営方式を採用して、教育の充実を図っている。

鬼怒川沿いの亀岡と呼ばれる小高い丘に建ち、多くの人材を輩出してきた水海道一高は、名実ともに水海道地域のシンボルとなっている。

## 亀陵のアゴラ

水海道一高の求める生徒たちの志を育む環境は、古代ギリシアの都市国家ポリスの広場アゴラに通じるものである。

アゴラは、市場や民会の開催場所として確立され、そこでは、市民が集い、議論を交わし、互いに学び合ったと考えられている。若者たちが集い、学び合うこの学校を

立地にちなんで「亀陵のアゴラ」とすることを目指した。

## 配置計画

1学年7クラス3学年分の教室を納める5階建ての新校舎は、南北軸に配置して、小さなフットプリントを実現し、グラウンドは既存維持とした。

新校舎は特別教室棟と直交し、亀陵会館と平行する。整然と並ぶ3つの校舎が前庭を取り囲み、正門から見る校内の風景に新たな秩序を創り出した。

新校舎の足元をゲートとして、以前は関係が切れていた前庭とグラウンドを結ぶ通路を設けた。この通路に面して昇降口・玄関を配置することで、通学や授業の利便性を確保し、構内環境の快適性を向上させた。

## 平面計画

1・2階に管理諸室、3～5階に1学年1フロアとして普通教室を各フロア同じ構成で配置した。

校舎中央に各学年のフロアを貫く3層吹抜けのセンターホールを据えた。各階ともセンターホールを囲むように教室を配置し、生徒たち全員がいつでも時間と空間を共有できることを目指した。

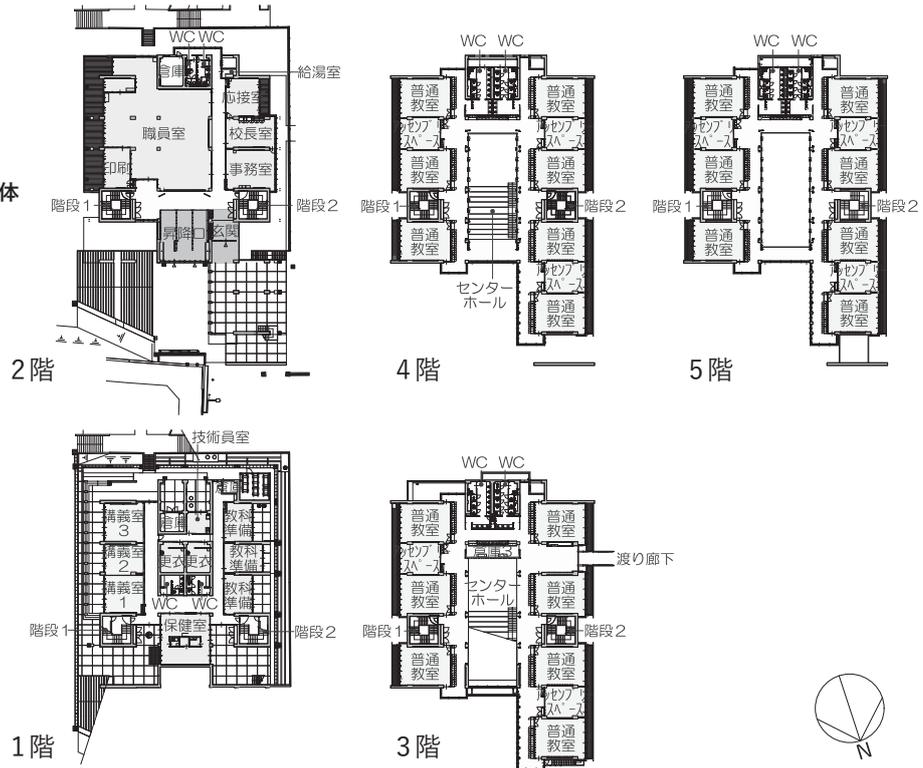
2つの教室の間に、アセンブリスペースとして小さな教室を設けた。教室・アセンブリースペース・センターホールの組み合わせにより、単位制運営方式の2クラス3展開、3クラス5展開等の選択授業に柔軟に対応できるようにした。

## 断面計画

新校舎と特別教室棟間の往來を安全に快適に行えるように、新

# 茨城県立 水海道第一高校

所在地 茨城県常総市  
 設計・監理 三上建築事務所・  
 眞建築設計室建築  
 関連業務共同企業体  
 建築面積 1,498.89㎡  
 延床面積 5,222.08㎡  
 主体構造 RC造 地上5階建



校舎3階と特別教室棟2階で両者を結んだ。特別教室棟の2階床レベルを基準として新校舎の3階床レベルを設定し、そのレベルから上下に振り分けた。

階高は3,600mmとして、型枠横使いとした場合に1層分4枚で定尺のまま用いることができ、切無駄をなくし、転用をしやすいとした。

### 構造計画・設備計画

フレキシブルな内部空間を確保するため、比較的閉じた空間とすることが可能な階段・トイレ等に耐震要素を集約して柱は軸力のみを負担することを前提とした。

壁・天井での突起物をなくすために、構造計画における柱・梁、設備計画における配管やダクト、配線ラック等は建築計画との整合を図った。同時に、縦方向の設備

経路を適切な位置に配置し、設備経路を単純化した。

### 鬼怒川氾濫

2015年9月10日の鬼怒川堤防決壊によって水海道の市街地は甚大な浸水被害を受けた。

水海道一高は、浸水の被害を免れて、9月10日から9月22日まで地域の避難所として504名を受け入れた。

小高い亀岡に立地していたことが地域の助けとなった。



南面全景

# ようこそフレッシュマン! Welcome Freshmen!

建築士会に新たに入会された  
会員の方々を紹介するコーナー。  
今号では3名の皆さんをご紹介します!

## 建築の仕事で “まち”の活性化に 貢献を



神代 巧 さん

[高萩支部]

平成27年入会  
高萩市役所

はじめまして。平成27年4月に入会しました。今後は、多方面でご活躍されている会員の皆様と交流できることを楽しみにしています。また、建築士会の行事や講演会等に積極的に参加して知識や経験を積み、自身の業務に生かしていきたいと考えています。

生まれ育った茨城県で建築の仕事が続けていき、非力ではありますが、“まち”の活性化に貢献できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## 木造建築や 地域文化財の 知識を広めたい



野澤 友子 さん

[筑西支部]

平成27年入会  
郡司建築工業所

このたび会社の勧めで入会しました。これまで何度か講習会等に参加させていただきました。入会を機に講習会やイベント等にも積極的に参加し、建築士の諸先輩方と交流できることを楽しみにしています。

業務を通して、木造建築や地域文化財等についての知識を広めていきたいと思っています。

日々学ぶことを忘れずに業務にまい進していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 地域のファシリティ マネジメント (FM) に貢献する



藤田 康広 さん

[県央支部]

平成27年入会  
(株)オセヤー級建築士事務所

10月末に建築士事務所を開設し、士会に入会しました。建築士になって4年、構造設計と公共施設FMの知見を積んでまいりました。地元に戻り、遅れている地域のFMに貢献すべく、建築士の皆さまと協働して取り組みたいです。

支部には、大先輩の方々と交流し勉強させていただける機会や、青年部の活動があると伺いました。これからの茨城を背負って、という固い姿勢ではなく、考え方や視点を広げて刺激を与えあう交流ができればと思います。

士会会員として長きにわたり活躍されてきた先輩方を訪問し、お話を伺うコーナー。第28回となる今回は、石岡支部の小松 邦彦氏と、県央支部の戸塚 敏夫氏を訪問し話を伺いました。  
聞き手＝情報・広報委員会



## 「つねに全体に目を向け、明日に向け前進を」

小松 邦彦 氏 (石岡支部)

昭和19年生まれ／昭和50年入会／会員歴40年

旧玉里村に生まれ、地元高校を卒業後東京に。東海道メガロポリス、列島改造、東京オリンピックと一大建設ブームの中、大学の建築科を卒業し十数年間東京で過ごす。その後Uターンし、昭和50年初めに当時の支部長宅を訪問し、入会。

——仕事をしていて嬉しいことは？

創造し作りあげること、無から生み出される有、それが作品の建築になり、その作品を、新緑の季節や落葉の中でじっと見つめて思いにふける、そん

な刹那に感じる達成感、征服感というようなものでしょうか。

——今後の目標は？

前向きに多くの文化に触れること。音楽、学問、美術芸術等々“中庸の徳”(ちょうどいいあんばいに)。

——後輩にメッセージをお願いします。

建築士を目指す人、建築士となられた人も含めて設計あるいは施工に携わる皆さまには、オールマイティをもくろみ、つねに全体に目を向け把握して、明日へ前進していただきたいと思います。



## 「大洗の活性化のため、今後も尽力していきたい」

戸塚 敏夫 氏 (県央支部)

昭和21年生まれ／昭和50年入会／会員歴40年

東京都大田区に生まれ、小学校5年生のとき父親の実家がある大洗町へ。水戸工業高校を卒業後、家業の戸塚製作所(鉄骨業)に就職、25歳で2級建築士を取得して大洗支部に入会。その後会社は株式会社戸塚建設に社名変更、44歳で代表取締役役に就く。水戸を中心に営業基盤を広げ、公共の建築、土木を主に手掛ける。現在大洗町商工会副会長、大洗町景観計画策定委員、都市計画審議会委員なども務める。

——会の活動として印象に残ることは？

県の青年部でよく全国大会に参加し、楽しかったことを覚えています。また県央支部との合併があり、

理事として尽力したことです。

——健康維持の秘訣を教えてください。

いろいろな要職を任され毎日忙しく過ごしています。特段に健康に注意することもないのですが、たまに仲間とするゴルフや家庭菜園などを楽しみにしています。

——今後の目標は？

大洗町は、商工会が手がけた「ガールズ&パンツァー」が人気で今はとても賑わっていますが、今後の継続とさらなる活性化が課題です。これからもよき建築士として、また商工人として、大洗の活性化のためにでき得る限りのお手伝いをしていきたいと考えています。

## 「中大規模木造建築物の設計者養成講習会」開催される



稲山先生による熱心な講義

2010年10月「公共建築物等木材利用促進法」が施行され、低層の公共建築物は原則木造化・木質化に努めることになりました。今回の講習会は、中大規模木造建築物のさらなる普及を目指し、稲山正弘東京大学大学院教授を招いての講義となりました。国交省の発表では、平成24年度に国が整備した低層の公共建築物462棟のうち木造はわずか42棟。中大規模木造建築物の普及を阻む要因と

しては、特注の大断面材や接合金物を使用することにより、コストがRC造、S造に比べて割高になること。防火、耐火に関する法規が木造に関して複雑でかつ厳しいこと。中大規模木造の構造設計ができる構造技術者が極めて少ないこと。木造での非住宅用の標準設計ツール（構造標準図等）が整備されていないこと。品質管理された構造用製材（地域材）の調達が難しいことなどがあげられます。また事例が少ない原因

について、稲山正弘教授は「公共建築物の設計を手がける設計事務所は、普段RC造やS造を中心に行っていて木造には不慣れな場合が多い」ことを挙げていました。中大規模木造建築の場合、コスト面、耐火の法規制、接合部の計算などがRC造やS造と異なり、避けられがちです。

講習会では、その解決策として、「中大規模木造建築物普及の課題、種類、事例紹介、計画手順」「流通木材を現地で用いた中大規模木造のための防火、耐火計画」「大断面集成材特注金物をなるべく用いず簡易な計算で対応するための構造計画」「中大規模木造建築物の構造材、加工、工法、標準図について」「モデルプランと建設コスト試算」など、木造で設計する際の具体的な手法について順を追って解説していただきました。どうしても「木造は難しい」という意識があると木造を敬遠してしまいがちでしたが、木造建築の可能性を知り、意識改革につながる大変有意義な講習会となりました。

地震に強い金属屋根工事一式

茨城県板金工業組合

理事長 花田 昇

〒311-4142 水戸市東赤塚2152-3 ファミールミヤモト107

TEL 029-254-6120 FAX 029-254-6420



## 平成27年度建築士会全国大会「石川大会」に参加。 茨城会からは4名の会員が表彰を受けました。



平成27年度建築士会全国大会「石川大会」が平成27年10月31日に行われ、茨城会からは次の4名の方々が連合会会長表彰および伝統的技能者表彰を受けました。

4名の皆様、まことにおめでとうございます。今後のさらなるご活躍を期待しています。

### 平成27年度連合会会長表彰者

潮田 充氏 (株式会社潮田建設)

大和田 信雄氏  
(有限会社おおわだ設計)

久保田 吉文氏  
(有限会社クボタ建築設計事務所)

### 平成27年度伝統的技能者表彰

土井 金哉氏 (山王建材株式会社)



上2枚) 金沢駅のシンボル「鼓門・もてなしドーム」と「兼六園口(東口)」

表彰者を代表して、久保田氏にコメントをいただきました。

「第58回建築士会全国大会石川大会が、石川県立音楽堂でパイオルガンの演奏の響くなか始まりまし

た。その中で連合会会長表彰を受賞したことは、私にとって身に引き締まる思いであります。このたび表彰を受けられたのは、いうまでもなく個人の力によるものではありません。日々ともに活動している建築士会の仲間のおかげと感謝しております。

これからも建築士会の活動に積極的に参加して建築士の品位保持に努めたいと考えています。合わせて若い建築士の皆様が建築士会に入会いただくことを望んでいます」  
(久保田 吉文)



下2枚) 会場入口で柴会長と／会場内で表彰を待つ4名の皆さん

## 「第24回日帰り見学会」報告。 快晴の日に世界遺産・富岡製糸場から軽井沢までを巡る。



日本と西洋の建築技術が融合した世界遺産の富岡製糸場

**毎**年恒例の11月3日（文化の日）に、日帰り見学会が実施されました。

今回のコースは、世界遺産・富岡製糸場視察→横川おぎのやで昼食→軽井沢・プリンスショッピングプラザにて自由散策です。

11月3日は晴れの特異日と言われる通り、すみきった晴れやかな暖かい日となり、水戸研修センターをバス2台で出発し、途中、桜川筑西ICロードパーク桜川から乗車された方と壬生PAで合流し、見学会参加者総数は89名となりました。

### 世界遺産・富岡製糸場

予定通り到着し、解説員が付くガイドツアーで、東置繭所→検査人館→女工館→繰糸所→首長館（ブリュナ館）と見学しました。

日本の主要な輸出品だった生糸の品質向上と増産を可能にするた

め明治5年に設立された官営の製糸工場の建物は、骨組みは木材を使用し、壁に煉瓦を積み入れて造る「木骨煉瓦造」という工法により、日本と西洋の建築技術を融合して建てられました。

多くのフランス人が関係したため、現代も変わらない優雅さがあります。また、当時の日本の伝統的な建築技術がいかに優れていたかを、改めて感じました。

### 横川おぎのや

昼食は、信越本線横川駅が開業した明治18年に駅前に創業した「おぎのや本店」発祥の名物駅弁を、おぎのや本店2階で堪能しました。人気の場所だからでしょうか「おぎのや渋滞」も体験しました。

軽井沢・プリンスショッピングプラザ  
そして、鉄道施設が残る碓井峠を



富岡製糸場にて

経て、避暑地・軽井沢に入り、ショッピングプラザにて、自由散策をしました。

このプラザは、昨年7月に、ニューウエスト芝生ひろばを中心に第7期増床オープンされ、総店舗数240店、店舗総面積は約42,000㎡となっており、以前よりさらにゆったりと散策することができました。

皆さま方のご協力により、予定通り見学会を無事に終えることができました。ありがとうございました。次回も、晴れの特異日に、ご期待にそえるような見学会を開催しますので、よろしくお願ひします。



## 「茨城県木造住宅耐震診断士養成講習会」開催。 耐震診断の基本ルールから実際の補強方法までを解説。



講習会の様子

**平**成27年10月19日、茨城県庁において「木造住宅耐震診断士養成講習会」が開催され、講師を務めてまいりましたので、その内容をご報告します。

詳細な認定要件等は省略しますが、市町村が実施する木造住宅耐震診断士派遣事業や耐震診断費補助事業を利用する場合、耐震診断を実施する建築士等が茨城県木造住宅耐震診断士であることが必要となります。当日の講習会には新規・更新及び勉強のための傍聴者等143名の参加があり、第1部「総論・一般診断法」、第2部「例題演習・精密診断・補強方法」の約4時間の講習となりました。

第1部では、耐震改修促進法ができた経緯やその内容について、設計と耐震診断の違い等、また建築基準法の改正に伴って変わってきた木造住宅に関する基準の変遷、

そのことにより新耐震基準となる前の昭和56年以前の建築物が対象となること、耐震診断における基本的なルールや流れの基礎的な話から始めました。次に、市町村が行う耐震診断士派遣事業で使用される一般診断法の解説です。これは、調査のやり方や重要なポイントについて、また技術的な話ばかりでなく、依頼者への接し方や注意事項も含め説明しました。実際にあった話ですが、調査に行けば室内各部屋に入りくまなくチェックします。それは人に例えれば健康診断と同じで、裸にするのと一緒です。そのため十分注意して行わないとトラブルの原因となります。事前にそのことが良く伝わってなくて、調査の最中に夫婦で大喧嘩を始めたり、調査に行った診断士と意見が合わずメンバーチェンジしてくれと言われたりなど、いろいろあります。やはり我々は、市町

村より依頼を受けて、いわゆる公務として行っていることを自覚していただきたいと思います。

第2部では、具体的な計算方法や一歩進んだ耐震補強のための精密診断の概要、並びに実際の補強方法など実例を示し解説しました。

この講習だけで理解することは不可能です。何事もそうですが、やはり経験を積みながら技術を身につけて行くことが大切です。今回受講した皆さまをはじめ、すでに木造住宅耐震診断士認定済の方々の、今後のご活躍を期待します。

なお、茨城県建築士会では、茨城県より委託を受け、次年度以降も講習会を開催する予定です。認定要件に該当する方、更新時期に当たる方は、ぜひ受講していただき、安心・安全なまちづくりにご協力願えれば幸いです。

## 「建設フェスタ2015」に参加。 今年は「ストローハウス」コーナーが大盛況！

去る平成27年11月8日(日)、笠松運動公園にて「建設フェスタ2015」が盛大に開催されました。茨城県建築士会では、この建設フェスタへ毎年参加しており、今年は「苗木無料配布」、「ストローハウスづくり」、賛助会員による「綿あめ」「輪投げ」の計4つのコーナーを出展しました。昨年までは「住宅相談」コーナーも出展していましたが、あまり相談者数が伸びないこともあり、今年から代わりに「ストローハウス」のコーナーを出展することとなりました。

当日は朝からあいにくの雨模様。私は主に「ストローハウス」のコーナーを担当しました。「ストローハウス」というのは、文字通りストローとクリップを使って建物を工作する遊びです。楽しみながら建物の構造的なことも学べる、子ども向けのイベントであり、隣に並ぶ「輪投げ」「綿あめ」のコーナーと合わせて、多くの子ども達を集客できるだろうと考えていましたが、予想に反し、開場当初はなかなかお客さんがやって



お父さんも夢中になる「ストローハウス」づくり

きませんでした。ストローで家を造ると言っても想像がしづらかったのかもしれませんが、最初の1組目のお客さんが席について工作を始めると、興味を持った子どもたちが次から次へと“来店”し始め、結果は大盛況でした。皆が思い思いのストローハウスを造り、持ち帰って行きました。最初は子どもに連れられてやってきた親御さんたちが、帰る頃には子どもそっちのけで工作に夢中になっているパターン(特に若いお父さん)も多かったように思います。

このストローハウスは、市販のストローとクリップがあれば、いつでもどこでも遊べる物なので、参加者から「学童教室の工作に取り入れたい」「子ども向けの他のイベントでもやってみたい」というような声も聞かれました。

このような工作を通じて楽しみながら建築に触れてもらうことで、多くの方に建築をもっと身近に感じていただけるように、今後も活動を続けていきたいと思えます。

建築・土木・開発・設計・施工

一級建築士事務所

株式会社 潮田建設

〒300-2615 茨城県つくば市田倉 5254-14

TEL (029) 847-2169 (代)

FAX (029) 847-5268



## 水害からの復興を最優先に考えながら、 常総市の歴史的遺産を活かす連携事業を推進。



常総市の五木宗レンガ蔵（国登録文化財）

**ま**ちづくり委員会では本年度、平成19年からの継続事業である街並みガイドマップ作成に加え、建築士会と自治体との連携事業に取り組んでいます。

ガイドマップについては編集作業中であり、日立、高萩、北茨城地区を中心とした歴史的建造物と街並みを紹介する内容となっており、年度内発刊を目標に進行しています。

また同時に(公社)日本建築士連合会が募集した平成27年度「まちづくりに係る建築士会と自治体との連携強化方策検討事業」助成事業に応募し交付決定となりました。本事業の目的は、建築士会と自治体とのまちづくりに係る協定の締結、業務受諾等の促進に資すると共に、地域社会の発展に寄与することであり、現在、当委員会が連携事業を進めています。

本事業による連携自治体として、常総市教育委員会生涯学習課の協力を得ており、歴史的には鬼怒川の

河川水運によって中核都市として栄え、五木宗レンガ蔵や鍵屋河岸倉庫などの歴史的な建物が多く残る常総市水海道宝町とその周辺の歴史的建造物及び街並みを活かした活性化事業について協議・検討を進めています。

### 想定内の水害

平成27年9月10日、鬼怒川が決壊。災害はあまりに大きく、甚大な被害に見舞われました。前日には常総市長に表敬訪問をし、連携事業について説明・協力を要請した翌日の出来事でありました。

常総市は東に小貝川、西に鬼怒川に挟まれた湿潤・不毛の低湿地でしたが、寛永6年(1629年)関東郡代の伊奈忠治が地元協力者と共に開発を行いました。その

後余りの洪水の多さに、溢れ出た水を川に戻す「悪水落とし」(排水路)を作り、1635年に八間堀が開削されました。江戸時代からの水害を調査すると、小貝川流域の氾濫41回、鬼怒川流域は19回、八間堀は7回の氾濫を繰り返しており、昭和61年には小貝川が決壊しています。

### 連携事業の継続

現在、常総市では被災地域の復興が最優先であり、復興計画策定、水害検証委員会を立ち上げて年度内検証を目標に審議中です。まちづくり委員会では、連携事業の当初の事業内容を精査し、「常総市を元気にしたい」という想いから、今まで実施してきたまちづくり委員会での実績を活かし、建築士会として、建築士として、できることを考えながら、「まちづくりに係る建築士会と自治体との連携強化方策検討事業」を進めていきます。今年度の常総市との連携事業に携わり、行政、地域の人々との関わりを持ち、建築士としての職能を活かした「まち」の利活用案を作成することで、微力ながら復興のお手伝いになればと思っています。



甚大な被害にあった常総市

## 今年も「工事管理者セミナー」を開催。 「今さら聞けない」や「知ってるつもり」を解消する機会に。



委員長よりセミナー主旨説明、講師紹介

**研** 修委員会では昨年度より工事現場管理者向けの「工事管理者セミナー」を開催しており、今年度で開催2年目となります。

「今さら人に聞けない…」ことや、普段の業務の中で意外に見過ごしてしまっていることについて再確認し、より良い工事現場管理、ひいては良質な建築物の生産につなげようという意図のもと、会員のみならず会員以外の方にも門戸を開き、今年度も4回の開催を行いました。

第1回は杭打ち工事と地盤改良

工事について、第2回はS造建築物の建て方後の現場管理について、第3回はRC造建築物の現場管理（主にコンクリート工事）について、第4回は電気・機械設備の工事の設計と施工のポイントについてそれぞれ学びました。

午後1時30分からという生理的に非常に眠くなる(?)時間の開催でしたが、毎回約50名前後の参加者にご出席いただき、盛況の内に終了しました。

私も一受講者として聴講しました

が、地盤改良工事について、各工法の特徴や管理方法に関する新しい知識を得ることができたり、知っているつもりで実は知らなかったコンクリート強度のさまざまな指標について知ることができたりと、非常に有意義なセミナーであったと感じています。

この「工事管理者セミナー」は来年度も開催する予定です。会員はもちろん、会員以外の方にも奮ってご参加いただければ幸いです。研修委員会一同、一人でも多くの方の受講をお待ちしています。



いす式階段昇降機『自由生活』

使う人目線のモノづくり  
昇降機のことなら



茨城営業所

〒305-0821 茨城県つくば市春日4-5-7  
クラモチ春日マンション 1F

TEL: 029-852-0780 / FAX: 029-852-0881

URL: <http://www.kumalift.co.jp/>



ダムウェーター ユニットタイプ『クマベット』



## ものづくりの楽しさを子どもたちにも伝えたい！ 「グリーンフェスティバル2015」でワークショップを開催。



「上手にできたよ！」

平成27年10月18日(日)、宮の郷工業団地(常陸太田市・常陸大宮市)にて、木とふれあうイベント「グリーンフェスティバル2015」が開催されました。

グリーンフェスティバルは、宮の郷工業団地において、「森林の大切さ」や「県産材の良さ」をPRするイベントとして、昨年引き続き開催されたものです。

当日は、爽やかな秋の青空の下、昨年を上回る約4,000人の来場者があり、たいへんな賑わいとなっていました。イベントでは、いばらきの木から家が出来るまでを紹介する木の工場見学やミニ上棟式、木工工作体験、林業機械の展示・実演など木に関する催しや、各種参加団体等のPRブース、地元の常陸太田市や常陸大宮市の特産品販売ブースなどが設けられていました。

茨城県建築士会では、「ストローハウス作り」という親子向けワークショップを実施しました。ストロー



大盛況だった「ストローハウス」づくり

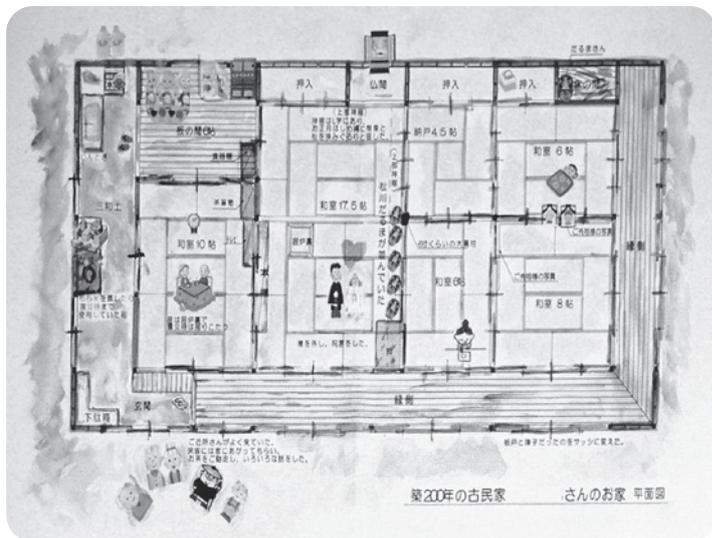
ハウス作りは、ストローとクリップを使用し、それらを組み合わせることにより家や立体を作っていく単純な仕組みです。ストローは数色用意し、参加した子どもたちが自由に選び、また組み合わせて、多種多様で自由な造形を楽しみます。仕組みが単純でありながら造形の自由度が無制限であることから、子どもたちは仕組みをすぐに理解し、思いのままに作品制作に取り組むことができます。

親子連れや子どもたちでブースは絶えず溢れかえっていました。机を2つと椅子を12脚用意して始めたワークショップでしたが、すぐに順番待ちや

立ったまま作る子どもたちでにぎやかになりました。自分で作った作品を会場内で大切に抱えている子どもたちや、子どもよりも大人の方が楽しんで作っている光景も見受けられました。

今回のイベントでは、私自身も子どもと一緒に参加させていただいたのですが、手を動かして物を作ることはやはり楽しいようで、「わからない! うまくできない!」など弱音を言うこともありましたが、どの子どもたちも皆笑顔で楽しそうでした。このようなイベントがきっかけとなり、ものづくりへの興味を持ってもらえれば素晴らしいと感じました。

## 第25回全国女性建築士連絡協議会に6名で参加。 分科会では『記憶の中の住まいプロジェクト』に深く共感。



『記憶の中の住まいプロジェクト』で作成された間取り図

あろうと、記憶の中の住まいを聞き取って、間取り図として再現するという『記憶の中の住まいプロジェクト』です。これは、流されてしまった家、崩れてしまった家の「間取りやそこで営まれていた暮らし」を聞き取り、間取り図をおこしてその方たちにプレゼントするという活動です。間取りだけでなくそこで代々どのような暮らしが営まれていたか、今は失われてしまったその暮らしを記憶の中から取り戻し、間取り図に落とし込むことによって記憶として留め、子孫に残すことができる、建築士ならではの被災地における支援活動だと共感しました。

**去**る9月25日～26日に、代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、第25回全国女性建築士連絡協議会「未来へつなぐ居住環境づくり」が開催されました。

初日の25日は、基調講演とパネルディスカッション、翌日は8つの分科会が行われ、各単位会の活動報告やディスカッションなど、全国から集まった200名を超える女性会員が(茨城からは6名参加) 熱い2日間を過

ごしました。

私はB分科会「震災 ボランティア活動の報告」に参加しました。この分科会は昨年、第24回全国女性建築士連絡協議会で「被災地における現状報告と取り組み」として、宮城県建築士会の女性部会から報告された活動のPart2になります。

被災して住み慣れた家を追われた人々が、次の一步のため、また集団移転による移転先の住まいの設計にも大いに役立てることができるで



茨城会からの参加メンバー

いきいき未来へ  
**コスモ総合建設株式会社**  
COSMO  
代表取締役 池田 勇夫

本社 / 〒310-0842 茨城県水戸市けやき台2丁目13-2 TEL.029-248-5358(代) FAX.029-248-5377  
<http://www.cosmo-ac.co.jp>    
つくば営業所 / 〒305-0033 茨城県つくば市東新井2-1 KMS・S2-403号室 TEL.029-852-5000 FAX.029-852-5077



## ラブアークセミナー 石材の品質と性格についての奥深い話に感動。



驚きの多かった「石材」セミナー

**11**月19日、茨城県福祉会館において、ラブアークセミナー「石材の品質評価とその性格について」が開催されました。

ご存知ですか？ 中国石材は磁石に付くのです。驚きでした。花崗岩は堅いスポンジ状態で保水効果が高いということもまた、驚きでした。年代の新しい石材は磁力が少なく石

花崗岩の性質について教えていただきました。建築材料としての石は石目を気にして使い、方向、場所を間違えると大変なことになること、また石を利用した工事事例、故障事例も教えていただきました。構造計算なく積み上げられた石も、先人の知恵と技術ですね。

石は環境負荷がなく浄化作用が

の成分どうしの結びつきも強いので、年代の新しい石材を選んだ方が良いこと（笠間・桜川の花崗岩の方が中国石材よりも年代が新しい）や、その他

あるので、石が採れるところは有数の米所でもあり、美味しい水や農作物もたくさん取れるという話も、興味深く聞かせていただきました。

サグラダ・ファミリアのように長いスパンの建築を造れたら、石職人も継承者を育てることができるし、建築途中も観光資源となり、完成してからも遺産となる。1000年以上受け継がれる建物の、ほんのひと時でも関わることができたらどんなに幸せでしょう。夢がありました。が、簡単ではありませんね。

今回のラブアークセミナー、とても楽しいセミナーでした。

講師をしていただいた羽黒石材商工業協同組合の伊藤英朗様に感謝申し上げます。



## わくわくセミナー 秋の洞峰公園でスケッチの妙味を知る。

**昨**年10月につくば市の洞峰公園にて開催された「右脳で描く3Dスケッチ」は、建築パース製作のカワナミレンダリング代表の川浪せつ子氏を講師に迎え、公園内の気に入った場所で各自建物風景をスケッチし、ランチをしながら皆さんとその作品の講評会を行うという企画でした。

まず広い公園の中のどのポイントだったら自分の描きたいスケッチになるかの選定を、川浪氏が以前から公園に足を運び描かれた、四季折々のスケッチを交えて説明していただき

ました。風景・植物・建物のバランスを考えながらポイントを選び、描きだす前に5分間よく観察する——すると、木の枝の先の葉や建物の硝子の奥など細かなことが観察でき、スケッチがスムーズに始められます。とは言っても久しぶりのスケッチ。普段私は建物をCADで描くばかりのため、なかなか進みませんが、川浪氏は公園内を廻り一人ひとりにアドバイスをくださり、写真とは違い、いい意味で要らないものを除きスケッチすることや、アイキャッチになるものを設けるなど、スケッチならではの楽



CADにはない楽しさがある「スケッチ」

しみ方を教えてくださいました。

講評会では、個々の個性が感じられ、自分には足りない点に気づくことができました。外の空気がとても気持ちいい季節、スケッチブックを片手にちょっと出かけ、季節の移り変わりを感じるのもいいものだなあと改めて感じました。

## 「施設見学会 in 東京」開催。 F・ゲーリーとスカイツリーと 屋形船に気分も高揚！



21\_21 DESIGN SIGHTにて

**平** 成27年11月7日(土)に、茨城県建築士会県央支部青年・女性部会主催による施設見学会 (in 東京) が行われました。まず最初に、六本木にある安藤忠雄氏設計の「21\_21 DESIGN SIGHT」で開催中の「建築家フランク・ゲーリー展」の見学をしました。グニャグニャしたグッゲンハイム美術館を代表作とし、最も最近ではFacebook本社を手がけたゲーリー。展覧会には、86歳になる巨匠の魅力と秘密が詰まっています。いくつもの形が複雑に合わさって生まれる絶妙なアンサンブル。ゲーリーの作品は誰が見てもすぐにそれとわかる強烈なアイコン性を有しています。今回の展覧会はタイトルにもある「アイデア」。彼のアイデアと、それがいかに実現されるかが展示されていました。ごく初期のモヤモヤしたスケッチから最終的なデザインまでゲーリーの思考の軌跡を追うことができます。彼はプロジェクトのたびに膨大なスケッチと模型を作るそうです。一見ランダムに見えるゲーリー建築がクライアントの要求に合わせて綿密

に組み立てられていることがわかりました。会場の「21\_21 DESIGN SIGHT」では、安藤忠雄氏の強い空間に対して展示台を斜めに置くなど、有機的なゲーリー建築との対話をみせるようにしていました。ゲーリー建築は実物を見る機会がほとんどないため、今回の展覧会はとても貴重でわくわくしました。

次に向かったのは東京スカイツリーです。曲面の強いゲーリー建築を見た後ということもあり、スカイツリーのひねりがやさしく見えたのが第一印象です。完成から2年半が経過してもなお衰えぬ人気を誇り、展望台まで1時間待ちという状況でした。私が驚かされたのは、高さや構造体もすばらしいのですが、エレベーターのスピードと音の静かさです。これはぜひ一度体験してほしいところです。タワーの高さとともに日本の技術力は世界に誇れるものだと実感しました。

その後浅草寺を散策し、施設見学会の締めくくりは屋形船大江戸での懇親会。東京湾に向け出港です。今回が県央支部初の女性部・青年



有機的なゲーリーの建築

部合同での施設見学会ということもあり、企画・運営をされた方々の「粋」な計らいによる屋形船懇親会が催されました。秋の心地よい潮風と東京湾の美しい夜景という最高のシチュエーションに、気持ちが高揚するなかで、参加者全員が“支部の結束”という同じ想いを抱いていたと思います。さらなる飛躍と発展の誓いの場となりました。



浅草寺



## 建築セミナー

「耐震工法・制振工法・免震工法どれが一番？」を受講して。



セミナーは動画や模型を交えて行われた



模型を使っての共振現象の実演

**阪**神・淡路島大震災では6千人を超える人が亡くなり、その8割以上が住宅の倒壊、什器の転倒が原因でした。この教訓により免震、制振構造が注目を浴び、ビルはもとより戸建住宅に応用の動きが活発化しています。87回を数える今回のセミナーは、業界で実績のある株式会社アイ・エム・エーの代表取締役を迎えての勉強会になりました。

①建物を丈夫に作るだけでは受ける衝撃ダメージが増大することが、実大実験動画で良く理解できました。

②建築基準法は、それらの最低基

準を定めたものであり、想定外の本震に1回耐えるのみであり、繰り返し発生する余震までは考慮されていないこと。

③共振現象では模型を使っての実演をしました。固さではなく、足元(地盤)の揺れと固有周期が合うと共振を起こします。そしてこの共振で被害の大きさが決まります。

④各工法の説明では、耐震工法——固く作る思想で、法では震度6強で避難する時間を確保するという設計方針。制振工法——骨組みに自動車のサスペンションのような装置を付け、揺れにブレーキをか

け、変形を50%以上低減する。大がかりな施工不要。免震工法——土台と基礎の間の装置で揺れや衝撃を建物に直接伝えない。コストが高い。以上のような内容が理解しやすく説明されました。昨今、住宅産業界においては、年代や生活様式、過去の教訓などにより多様な性能が要求されます。技術者の一人として、まず一番に、万が一の災害に対して強く、住み手の生命・健康・財産の保護が保証された建築物を提供しなければとの使命感を感じたセミナーでした。

# 四季彩建設株式会社

アトリエ・四季  
一級  
建築士事務所

〒315-0037  
茨城県石岡市東石岡3-2-12  
TEL 0299-26-7251 FAX 0299-26-7298

## 「小江戸川越散策&長瀬<sup>ながとろ</sup>ラインくだり」

美しい自然とレトロで活気あふれる街並みを満喫した一日。



長瀬ラインくだりで記念撮影

**本**年度のひたちなか支部「視察研修会」は、昨年11月29日(日)8時出発、18時帰着の日帰りで、「小江戸川越散策&長瀬ラインくだり」を企画しました。タイムスケジュールを検討しながら、川越観光協会よりガイドマップを取り寄せ、長瀬ラインくだりはコースガイドを見ながら午後の楽しみとして予約を入れました。参加する皆さんに楽しい思い出を残せたらと思い、ワクワクしながらの企画でした。

ところが、実施日の2日前になって、当日は「小江戸川越ハーフマラソン」のために蔵造りの街並み周辺一体が8時から12時まで交通規制となりバスが入れないことがわかり、大慌て。午前と午後のルート変更を検討して、出発直前にバスの運転手さんとタイムスケジュールを調整し、行きは北関東自動車道経由で関越自動車道、帰りは関越自動車道経由で外環自動車道と決め、車中で昼食の時間調整などを参加



歩くだけで楽しい川越の街並み。左：時の鐘／右：蔵造りの街並み

者と協議しながらスタートしました。

長瀬は、この日が紅葉祭りの最終日のために観光客で大変混雑していましたが、11時30分に予約変更したラインくだりにスムーズに乗ることができました。親鼻橋より岩畳までの20分コースは、全員が初体験で、透き通る水の流れを覗き込みながら長瀬の美しい景観や船頭の竿裁きやガイドに目と耳を傾け、時にはサービスの水しぶきを浴びて、あっという間の20分でした。昼食のそば屋「はやし」と長瀬駅前散策で時間調整をして、14時に交通規制が解除された川越へ。

さすがに「小江戸川越は歩くだけでも楽しいんです」とのPR通り、

蔵造りの街並み一番街、大正浪漫夢通り、菓子屋横丁と、和服姿(レンタル)の若者の姿もあり、年齢、国籍を問わずにワクワクしながら歩き、楽しめる所でした。このレトロな街並みの保存と活気溢れる雰囲気、素晴らしいところは、人が集まる所、保存建物、街並み全てが生きているということでした。これからの時代のまちづくりの参考になりました。

15時30分川越を後にして、予定の18時に帰着することができました。

今回の企画で、調整に協力して頂いた川越観光協会、長瀬ラインくだり案内所、参加者の方々に感謝しています。



## 東海村文化祭に「段ボールハウスの張り紙体験」で参加。 子どもたちの作品は村内幼稚園で「マイハウス」に！



子どもたちの自由な発想でカラフルな段ボールハウスに



未来の建築士かな？

**昨**年10月2日の白方コミュニティセンターでの文化祭準備会で、親子で段ボールハウスに張り紙を体験するコーナーを出そうと決まりました。年々参加会員が減少するなかでイベントに参加し活動することが大変なことはわかっていても、みんなで協力すればできると信じ、段ボールハウスの試作から始めていきました。28日に役場で準備打ち合わせを行い、30日に会場まで搬入し、組み立てが完了

しました。軽トラックに段ボールハウスは2基しか積めず、1基は会場組立てとなりました。

31日、いよいよ文化祭当日です。工作コーナーは、段ボールハウスに張り紙体験できる自由参加型で、子どもたちの遊び場となっていました。またパネル展示コーナーでは「その日に備えて耐震化」をテーマに、木造改修工事の事例紹介等のパネル展示を行い、来場者からの質問に会員が答える場面もありました。苗

木の配布も好評で、100本のブルーベリーはすべて配布完了。また川崎教育長のご配慮で、カラフルに変身した段ボールハウスは村内幼稚園で子どもたちのマイハウスになってたいへん喜ばれているようです。…未来の建築士になってね！！

11月3日が最終日。期間中20名の会員に協力参加していただきました。ご協力ありがとうございました。

さて、来年は何にチャレンジしましょうか？

人に優しく、環境に優しく、  
全ての Workplace を演出、サポートする…

### 株式会社 新日東

〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 3127  
TEL:029-270-8551 FAX:029-270-8552  
<http://www.shinnitto.co.jp/>

内装仕上工事業 茨城県知事許可（般-26）第25910号  
高度管理医療機器等販売業（常陸大宮保険所長許可 宮第26号）



(営業品目)  
造作家具・学校施設家具備品・間仕切工事  
特殊浴槽・福祉機器備品・スチール家具・・・

## 東日本大震災における駅舎天井の大規模落下とその後の取組み

### 1. 概要

JR東日本では日々ご利用いただくお客さまに鉄道施設の安全及び安定した鉄道輸送が遂行できるよう、その管理に努めています。先の東日本大震災では、常磐線沿線の駅舎においてもコンコース天井が広い範囲で落下しました。天井が落下した駅の天井は傾斜や曲面で構成された形状となっており、仕上げ材は岩綿吸音板などのボード系のものが使用されていたところで被害が大きくなりました(表-1)。

表-1

	A 駅	B 駅	C 駅
天井形状	曲面 (一方向)	傾斜の 大天井	複雑な 曲面
天井面積	約600㎡	約300㎡	約900㎡
天井高さ	4.6～6.8m	6.5m	5.5～9.5m
仕上げ材	PB9mm + 岩綿吸音板 19mm	PB9mm + 岩綿吸音板 19mm	Fボード + 岩綿吸音板 12mm

3駅とも天井ふところは1m前後でしたが、自由通路・コンコースの広範囲にわたり、天井が落下しました。仕上げ材のみの落下や下地材からまとめて落下した範囲が見られました(図-1、写真-1～3)。

図-1 天井落下範囲図

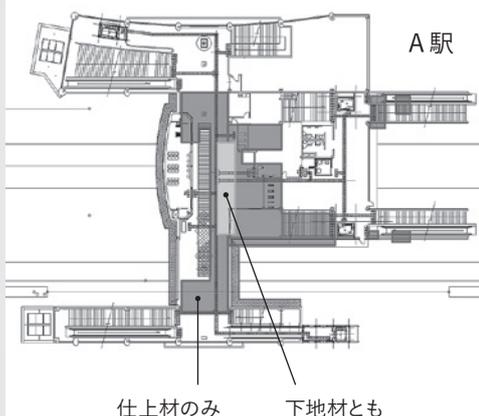


写真-1 A 駅 天井落下状況



写真-2 B 駅 天井落下状況



写真-3 C 駅 天井落下状況

### 2. 応急復旧

震災後、常磐線は東海駅までの運転再開が3月31日、また順次高萩駅までが4月7日、いわき駅までが4月11日と段階的な列車運行で再開しました。この段階では天井の復旧の手法は定まらず、運行再開に先行して、各駅において天井材の撤去工事を済ませた時点で、早期に自由通路を開放するように努めました。

### 3. 恒久復旧

運転再開後は、見映えだけな

く天井がないことで夏場のコンコースの室内温度の上昇などさまざまな不都合が発生しました。そこでJR東日本では、独自に天井の復旧方法として、耐震性能向上のための天井下地の耐震補強、仕上げ材料の金属化を実施しました。屋根形状に沿って直天井としたり、下地の耐震ブレースの構造・配置を検討し、耐震補強を行ったりしています。



写真-4 A 駅 天井修復工事後

### 4. 現在の取組み

2013年7月の建築基準法改正により具体的な天井脱落対策の方針が規定されました。当社でも2013年度より、震災による天井被害の有無に関係なく、駅の旅客流動部における天井の耐震補強工事を進めています。駅と併設している自治体施設との調整を行いながら補強構法のほか天井を撤去することも選択肢として、現場に合う天井形状・施工方法を選択しています。引き続き、お客さまの安全及び安全・安定輸送の確保を図っています。



写真-5 C 駅 天井修復工事後

オフィスで必要なものはなんでも!

・OA機器・事務用品・スチール家具販売

(株)トビタ文具

水戸市谷津町887 ☎(029)212-5311(代) FAX(029)253-0681

Hardwood Floor Speciality



Value Create

私たちの役割は、木材を加工して価値をつくりだすことです。

北海道パーケット工業株式会社

本社・工場	〒049-0101	北海道北斗市追分81-14	TEL. 0138 (49) 5871
東京支店	〒166-0012	東京都杉並区和田3-32-7	TEL. 03 (3313) 4181
大阪支店	〒533-0013	大阪市東淀川区豊里5-28-3	TEL. 06 (6327) 1231
仙台営業所	〒981-0932	仙台市青葉区木町9-5	TEL. 022 (219) 3621
水戸営業所	〒310-0852	水戸市笠原町1312-1	TEL. 029 (305) 0311
札幌営業所	〒001-0035	札幌市北区北35条西10-1-3	TEL. 011 (746) 0711
九州営業所	〒802-0804	北九州市小倉南区下城野1-7-3	TEL. 093 (921) 7752



MATSUMOTO-SOUKEN

株式会社

松本総建

代表取締役会長 松本 一幸

— 特定建設業 —

茨城県知事許可(特-24)第21680号

関東中央支店 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2  
TEL 029-295-7715(代)  
FAX 029-295-6548

本 社 〒311-4152 茨城県水戸市河和田2-9-5  
営 業 所 〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師3891-6  
第一機材センター 〒311-4203 茨城県水戸市上国井町字南台3669-1  
第二機材センター 〒311-0133 茨城県那珂市鴻巣白旗1195-1  
第三機材センター 〒311-0106 茨城県那珂市杉410-2

《営業内容》 ■ 枠組足場工事 ■ くさび式先行手摺足場 ■ 鉄骨建方工事  
■ 建築土工事 ■ 土工事 ■ 外構工事



防水・塗装・外壁改修工事

柳澤工業株式会社

〒300-4101 茨城県土浦市永井398

TEL 029 (862) 4711 (代表)

FAX 029 (862) 4382



株式会社 **市毛建築設計事務所**

代表取締役 **市毛 純一**

〒311-4152 水戸市河和田2丁目2190-7  
TEL 029(253)1331 / FAX 029(253)3511  
E-mail: j-ichige@sunshine.ne.jp



有限会社

**クボタ建築設計事務所**

(一社)茨城県建築士会 石岡支部長

代表取締役  
一級建築士 **久保田 吉文**

事務所 〒315-0001 石岡市石岡3055-9  
TEL 0299-23-9305  
FAX 0299-23-9307  
E-mail: info@kubota-sekkei.co.jp  
URL <http://kubota-sekkei.co.jp>

水戸駅南口直結。多彩なニーズに対応する未来型都市型ホテル



# HOTEL TERRACE

the GARDEN MITO

〒310-0015 水戸市宮町1-7  
Tel. 029-300-2500(代表) FAX. 029-300-2545  
<http://www.hotel-terrace.com>



株式会社  
増山栄建築設計事務所



【本 社】

〒300-0874 茨城県土浦市荒川沖西1-1-4  
TEL 029-842-3841

【本社設計室】

〒300-0871 茨城県土浦市荒川沖東3-1-34  
TEL 029-843-6011 FAX 029-843-3122

【つくば支店】

〒305-0047 茨城県つくば市千現1-12-2-305  
TEL 029-893-6012 FAX 029-852-3810

URL <http://www.masuyama-arc.com>

since 1969

日建学院



結

努力を結果に結びつける

1級建築士 合格実績

No.1

1990~2014年 合格者累計

日建学院 1級建築士  
80,713人

全国累計1級建築士 137,093人\*

当学院合格者の  
1級建築士占有率

58.9%

近年25年間だけの累計でもこの実績!  
我が国の1級建築士の半分以上が  
日建学院出身者です。

2級建築士 167,960人  
\*1980~2014年累計

宅地建物取引士 93,601人  
\*1978~2014年累計

\*上記全国累計は財団法人建築技術教育普及センター  
発表試験結果(1990~2014年)のデータです。

だれでも理解できる「やさしい構造計算」



▶ 初級コース

構造計算を初めて勉強される方

▶ 中級コース

構造計算の基礎知識がある方

▶ 構造設計一級建築士

構造計算一級建築士を目指す方

「受講者の声」を  
掲載しております!

「受講者の声」は、下記アドレスより是非ご覧ください!

<http://www.19259.com/kz/voice/>

やさしい構造計算

検索

県内 日建学院各校ご案内

資料請求など、お問合せは最寄校へお気軽に。

水戸校

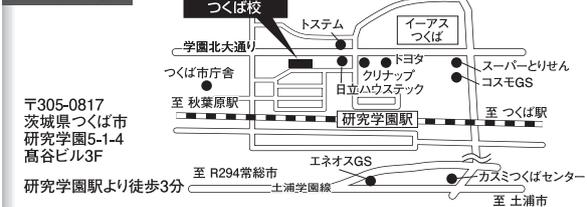


〒310-0803  
茨城県水戸市  
城南2-11-15  
日建ビル  
水戸駅より徒歩で約10分

TEL.029-226-5100

FAX.  
029-226-2051

つくば校



〒305-0817  
茨城県つくば市  
研究学園5-1-4  
高谷ビル3F

TEL.029-863-1166

FAX.  
029-859-5369

日建学院コールセンター ☎0120-243-229 受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます) 株式会社建築資料研究社 東京都豊島区池袋2-50-1



三上建築事務所・眞建築設計室建築関連業務共同企業体

## 三上建築事務所

[www.mikami-arc.co.jp](http://www.mikami-arc.co.jp)

所長 益子一彦

本社 〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-4-36  
3-4-36 Ohmachi, Mito-city, Ibaraki, 310-0062 Japan

TEL 029-224-0606 FAX 029-226-3778  
TEL +81-29-224-0606 FAX +81-29-226-3778

東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野 1-1-1 O&K1.1.1ビル 4階  
O&K1.1.1 Bldg., 4F, 1-1-1 Higashiueno, Taito-ku, Tokyo, 110-0015 Japan

TEL 03-5817-8184 FAX 03-5817-8194  
TEL +81-(0)3-5817-8184 FAX +81-(0)3-5817-8194

九州事務所 〒310-0062 佐賀県佐賀市駅前中央 3-14-31 サンフィールド佐賀 401号  
Sunfiled Saga, 401, 3-14-31 Ekimaechuo, Saga-city, Saga, 840-0801 Japan

TEL 0952-37-7630



<http://www.arc-shin.com>

株式会社 眞建築設計室

〒310-0836 水戸市元吉田町1186-1

TEL (029) 304-5600 FAX (029) 304-5601



# 建築と住まいのことなら!

## 一般財団法人 茨城県建築センター

住まいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。  
迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

- ☆ 当センターのご利用の多いユーザーには『**建築確認手数料の後納制度**』があります。
- ☆ 『**レターパック等にて確認申請**』を受付けております。  
確認引受書と併せて新しいレターパックを返却させていただきます。

### 1 建築確認・検査業務

#### 業務の範囲

- 全ての建築物の確認(ルート2審査対応)、中間検査及び完了検査
- 建築設備、工作物の確認及び完了検査
- 仮使用の認定手続き

完了検査率アップ!  
検査済証は適法建築物の証です。

### 2 住宅瑕疵担保責任保険業務

- まもりすまい保険(統括事務機関)住宅保証機構(株)
- あんしん住宅瑕疵保険(取次店) ㈱住宅あんしん保証
- JIOわが家の保険(取次店) ㈱日本住宅保証検査機構
- ハウスプラスすまい保険(取次店) ハウスプラス住宅保証(株)

### 3 証券化支援事業業務

- 住宅金融支援機構の融資住宅による設計審査・現場審査業務



### 4 住宅性能評価業務

#### 住宅性能評価制度のメリット

- 住宅の性能の相互比較が出来ます
- 設計どおりの施工がされるよう第3者機関(当センター等)による検査が受けられます
- 円滑・迅速で専門的な紛争処理が受けられます

### 5 長期優良住宅の認定に係る審査業務

- 長期優良住宅建築計画の技術的審査業務

### 6 低炭素建築物の認定に係る審査業務

- 低炭素建築物新築等計画に係る技術的審査業務

### 7 構造計算適合性判定業務

### 8 耐震診断・補強計画判定業務

### 9 住宅・建築の相談業務

- 住宅・建築に関する相談のできるコーナーを本部及び県南事務所に設けています
- 毎週第1・第3土曜日10:00~16:00(12:00~13:00 昼休み)



<http://www.ibakenju.or.jp/>

お問い合わせは

一般財団法人 茨城県建築センター ※営業時間/午前9時~午後6時まで(第2・4・5土曜及び日・祝日を除く)

■本部事務所(水戸市) 〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30 TEL.029-305-7300 FAX.029-305-7310	■県南事務所(つくば市) 〒305-0035 茨城県つくば市松代1-18-1 TEL.029-860-8088 FAX.029-860-8090	■県西事務所(古河市) 〒306-0126 茨城県古河市諸川1064-1三友ビル5F TEL.0280-75-2600 FAX.0280-75-2603
---	--	--

一般社団法人 茨城県建築士会 会員の皆様へ

## 迎春

新春を迎え、平素のご厚情に深くお礼を申し上げますとともに  
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

本年もどうぞ宜しく願ひいたします。

平成28年 1月

一般財団法人 茨城県建築センター

会長 柴 和伸  
職員一同



設計 & 監理

株式会社 柴 建築設計事務所

---

水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル7階

TEL.029-227-0222[代]

FAX.029-231-0960



茨城県立水海道第一高校



一般社団法人  
茨城県建築士会

<http://homepage1.nifty.com/ishikai/>